

祈りにおける靈の戦い

ダニエル書 10 章

あなたが悟ろうと心をこめ、あなたの神の前に身を悩ましたその初めの日から、あなたの言葉は、すでに聞かれたので、わたしは、あなたの言葉のゆえにきたのです。(12)

ダニエルの祈りは聞かれ、ペルシヤ王クロスによつてイスラエルの民は捕囚から帰つて行きました。ダニエルはそのままペルシヤに残り、民の帰還から二年後に一つの幻を見ました

ダニエルはイスラエルの民のために三週間断食をして祈っていました。そのとき、主が幻のうちに見れ、これから起こることを告げます。その中で神の使いは、「あなたの神の前に身を悩ましたその初めの日から、あなたの言葉は、すでに聞かれた」と告げます。三週間前にダニエルが祈り始めたその日に、彼の祈りはすでに聞かれていたというのです。神の使いはダニエルの祈りを受けて、ダニエルに神の言葉を告げるために神のもとを出て来たのですが、彼のもとに着いたのは二十一日後、すなわちちょうど三週間後のことでした。このように時間がかかったのは、ペルシヤやギリシヤを通してこの世界を支配しようとする悪の靈と激しく戦つていたからでした。ダニエルの三週間にわたる断食祈禱は、天上における靈の戦いの勝敗と結びついていたのです。

わたしたちは祈りがすぐに聞かれないからといって祈ることをやめてはなりません。わたしたちに必要なのは、悪の靈との戦いに参与することです(エペソ六12)。わたしたちの信仰を奪い去ろうと働く悪しき靈に対して、祈りをもつて対抗しようではありませんか。